

揚げる前の三角揚げ
揚げたての三角揚げ



浮かしながら反転動作を繰り返す

ムラが全くできない。本当に驚きました。1台目を入れて満足しましたので、1年後にすぐ2台目のフライヤーを導入しました。どちらも全くトラブルなく動いていて、(株)岩瀬製作所には本当に感謝しています」との事だった。

「はらから福祉会では、障害者の方が年金と合わせて月額15万円の収入を得ることを目標としています。そのためには、月額賃金が7万円必要です。これはかなり高い目標で、これを達成するためには、安全、安心な人気商品を造り、直売とともに、

多くの事業者様に扱ってもらわなければなりません。一番の取引先である「みやぎ生活協同組合」の品質管理は非常に高い水準を求められるため、商品の製造にも最新の注意が求められます。岩瀬製作所の浮かし揚げフライヤーはその点でも安心して製造できる優れたフライヤーだと思っています」と話している。

多くの実績をベースに信頼あるフライヤーに

(株)岩瀬製作所の浮かし揚げフライヤーは、手づくりと同様に油揚げを

社会福祉法人はらから福祉会
びいんず夢楽多
〒989-1322 宮城県柴田郡村田町大字
関場字屋敷前 137-1
Tel. 0224-82-1177
URL : <http://www.harakara.jp/>

株式会社岩瀬製作所
〒443-0046 愛知県蒲郡市竹谷町西ノ浜34
Tel. 0533-68-2318
URL : <http://www.iwa-sei.com>
E-mail : info@iwa-sei.com

さらに次のような特徴もある。

- ・点火・消火は押しボタン。
- ・温度調節は、ON/OFF制御。
- ・燃焼室内に高温の燃焼ガスを滞留

「働くことを生活の柱に」をスローガンとして、宮城県を拠点に各種食品製造販売やグループホーム事業を行う社会福祉法人はらから福祉会(宮城県柴田郡)。障害を有するものも、そうでない者も、同じ「はらから(同胞)」であるという武田元理事長の思いから運営されている。現在、はらから福祉会は宮城県内に9つの事業所と11カ所のグループホームを運営している。

「効率アップ」は、「ガス式=暑い」と思いませんか?

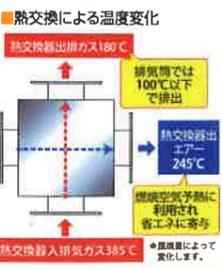
高効率 厚揚げフライヤー “FF型-HE”

燃料 ガスバーナー→熱交換器→排気筒(温度100℃以下に低減)

燃料用 燃焼用プロア→熱交換器→予熱空気をバーナー燃焼に利用(省エネに寄与)

空気 予熱空気をバーナー燃焼に利用(省エネに寄与)

●熱効率70%以上にアップ(大阪ガス測定)



株式会社 岩瀬製作所 <http://www.iwa-sei.com/>
〒443-0046 愛知県蒲郡市竹谷町西ノ浜34 TEL.0533-68-2318 FAX.0533-67-1017

させながら加熱し、後に排気。集中排気により、排熱の拡散防止。失火・空焚き・異常高温を感知しガスを遮断。

・油量は従来機の半分以下、したがって必要カロリーも減少。

「美味しい揚物、フライヤーの職人技」を標榜する(株)岩瀬製作所。町店から大規模メーカーまで、その技術力で揚げ物の世界を広げていく。



浮かし揚げフライヤー

ユーザーボ

ユーザー
社会福祉法人はらから福祉会 びいんず夢楽多(宮城県柴田郡)

メーカー
(株)岩瀬製作所(愛知県)



遠藤所長



揚げたての三角揚げ

フライヤー入れ替え導入で、速さ2倍、揚げムラがなくなり、ロスが激減

「びいんず夢楽多」は就労継続Bにカテゴライズされる施設で地元の生協などに油揚げ・味噌漬け油揚げなどを販売している。

はらから福祉会では、就労者の月額賃金が7万円になることを目指している。ちなみに、宮城県における令和2年の就労支援B型施設の月額賃金は1万7247円である。7万円という目標は非常に高い。それでも現在は月額約4万5000円を達成しており、より多くの売上を上げるために、商品の味や品質、生産の効率化は欠かせない。また当然のことながら、障害を持つ就労者が優れた労働環境の中で安全に仕事ができることも重要なポイントである。

求められる味・品質

手づくり同様の三角揚げ

「びいんず夢楽多」の看板商品である三角油揚げ。三角の油揚げが効率的に造れるかという点を心配していたが、実際に稼働すると全く問題がなかったという。

「びいんず夢楽多」の遠藤正所長は、(株)岩瀬製作所の浮かし揚げフライヤーの導入後すぐにその性能の良さに驚いたという。

「導入までは、本当に三角揚げが効率よくできるのかという点に懸念もありました。しかし、実際に稼働すると全く問題なく手づくり同様の三角揚げができました。しかも以前のフライヤーと比較すると、速さは約2倍になり、製造ロスもほぼ無くなりました。その上、油揚げに揚げ

「働くことを生活の柱に」をスローガンとして、宮城県を拠点に各種食品製造販売やグループホーム事業を行う社会福祉法人はらから福祉会(宮城県柴田郡)。障害を有するものも、そうでない者も、同じ「はらから(同胞)」であるという武田元理事長の思いから運営されている。現在、はらから福祉会は宮城県内に9つの事業所と11カ所のグループホームを運営している。

9つの事業所は、今回、(株)岩瀬製作所(愛知県、岩瀬友博社長)のフライヤーの取材を行った。油揚げ・味噌漬け油揚げ製造の「びいんず夢楽多(むらくた、遠藤正所長)」、最初に創立された豆腐・豆乳・ゆばを製造する「蔵王すずしろ」のほか、総菜製造、菓子製造、油麩・プロテイン製造、牛タン加工、食肉加工、パン・レトルト製造、スパイス製造、ピザレストランなど、非常に多岐に亘った事業を行っている。